(様式2)

山留め工事の施工計画書・計画変更書

【対象】5m<最大根切り高さ注① 最大根切り高さ5m以下の場合は別書式になります。 注② 開発または宅造の許可を受ける場合は対象が異なります。

〇〇年〇〇月〇〇日

(建築基準法第 12 条第 5 項、横浜市施行細則第 17 条の 3、宅地造成等規制法第 19 条、同施行令第 22 条) 本工事において、下記の調査・検討結果に基づき安全に根切り工事及び山留め工事を行います。

住 所 横浜市〇〇区〇〇町123-1 又は 氏 名 00 00 造 成 横浜市〇〇区〇〇町123-2 住 所 箵 (──) 級建築士事務所(大臣·知事) 登録 第○○○○○号 (電話 000-000-0000) 事務所名(株)〇〇設計 工事監理者 沓 (—) 級建築士 (大臣・知事) 登録 第○○○○○日 (2) 級土木施工管理技術者 登録 第○○○○○○日 名 00 00 氏 住 所 横浜市〇〇区〇〇町123-3 格 建設業の許可(大臣・知事) 登録 第 00000号 工事施工者 (電話 000-000-0000) 箵 変更確認番号は 直近の番号を記 (株)〇〇工務店 00 00 숲 社 入してください。 工事名称 〇〇様邸新築工事 〇〇年 〇〇月 〇〇日 ROO確更建築よこはまOOOO 第 建築確認番号 又は許可番号 当初建築確認番号又は許可番号 (第ROO確認建築よこはまOOOOO号) 工事概要 建築場所 横浜市〇〇区〇〇町123-4 用 途 一戸建ての住宅 又は 造成場所 木 造、地上 2 /地下 - 階、延面積 123.0 構造・規模 一戸建ての住宅の場合は、 山留め等の構造計算書の 山留め工事の 〇〇年〇〇月〇〇日 (根切り開始日 : ○○年○○月○○日 添付が必要です。 着手予定日 埋戻し完了 〇〇年〇〇月〇〇日 定 \Box 大 5.2 根切り高さ 地下埋設物調査 近接構造物等及び崖の調査 ■上下水道 (有 · 無) ■近接構造物等の調査 ■ガス配管(有 · 無) ■道路上工作物等の状況調査 敷 地 周 辺 ■電線ケーブル(有 ・ 無) ■近接地の崖の有無(※1)(有 ・ 無) 調 査 →崖「有」の場合 ■崖の影響を考慮した □その他(地下埋設物「有」の場合 □その他(■撤去・移設・養生計画を行った 地下水調査(GL-○○m) 原位置試験 土質試験 ■標準貫入試験 □一軸圧縮試験 ■地下水位測定 ■三軸圧縮試験 □横方向載荷試験 □現場透水試験 地 盤 調 査 □スウェーテ゛ン式サウンテ゛ィンク゛試験 □間隙水圧測定 ■単位体積重量試験 □その他(□揚水試験 □含水量試験 ■粒度試験 □その他(深 さ 土質分類名 単位体積重量 粘着力 内部摩擦角 N 値 側圧係数 GL-OOm~ OOm シルト $\bigcirc\bigcirc$ (kN/m³) $\bigcirc\bigcirc$ (kN/m²) 00 00 0.0 GL-OOm~ OOm ローム OO (kN/m³) $\bigcirc\bigcirc$ (kN/m²) 00 00 0.0 背面及び 根切り面 GL-OOm~ OOm 泥岩 $\bigcirc\bigcirc$ (kN/m²) 00 00 OO (kN/m³) 0.0 下の土質 GL $m\sim$ (kN/m^3) (kN/m^2) GL $m\sim$ m (kN/m^3) (kN/m^2) GL- (kN/m^2) (kN/m^3) $m\sim$ m

(※1) 新設掘削底面より45°の線(主働すべり線)を引き、その範囲内に高さ3m 超えかつ角度30°超えの崖がある場合は「有」にチェックをしてください。またその影響を山留め計画に考慮し「崖の影響を考慮した」にチェックをしてください。

| (旅八乙) | - 17 1/17 | 1 67 11 - 11 - 17 WT | | |
|--|--------------------------|-------------------------------|--|--|
| 山 留 め 壁 | の種類 | 山 留 め エ 法 の 種 類 | | |
| ┃■親杭横矢板 | | ■山留め壁自立工法 | | |
| □鋼矢板(シートパイル) | | 口法付オープンカット工法 | | |
| □ソイルセメント柱列壁 | | →□法面の安定計算を行っている | | |
| □連続地中壁 | | □法面保護を行っている | | |
| □その他(|) | 口水平切りばり工法 (段) | | |
| | | □アースアンカー工法(隣地承諾 済・未済/隣地に設置なし) | | |
| | | □その他(| | |
| ば 助 対 笠 エ 注 ボイリング・ | ヒービング・盤ぶくれの対抗 | 策(<mark>有</mark> ·無) | | |
| 補助対策工法 バーノング こ こ こ | | | | |
| 排水工法 | の種類 | 親杭・矢板の施工方法 | | |
| ■釜場工法 | | ■圧入工法 | | |
| □ディープウェル工法 | | ┃ ┃□振動工法 | | |
| □その他() | | □その他() | | |
| 背面側 | 掘削側 | 山留め壁の最大変位 | | |
| 設 計 用 ロランキン・レザー | ル式 ランキン・レザ・ール式 | □ 田田の型の取入を位 「 | | |
| 土 圧 式 ■三角形分布: | 式 □その他() | 必要根入れ長さ(最大) | | |
| □その他(|) | (| | |
| <u>-</u> 乗り入れ構 | 台の位置 (有 ・ 無 | | | |
| 設 計 時 ■仮設設備の位置 (有 · 無) | | ■道路上工作物等の位置 (有 ・ 無) | | |
| 考慮した事項□その他(| |) | | |
| ■トランシッ | ト測定 | □ひずみ測定 交通経路・高圧線の有無 | | |
| 計 測 管 理 □レベル測定 | | □その他を確認し、チェックをい | | |
| | | れてください。 | | |
| | り│■交通経路調査(道路幅員、高さ規制の有無等) | | | |
| 搬入について ■高圧線の有 | 無 | | | |
| 施工機械等の┃■荷受けスペ | 載等の ■荷受けスペースの確保 ■残土 | | | |
| 設置について ■施工機械設置スペースの確保(進捗に合わせた移動も含む) ■設置地盤の安定性(改良等) | | | | |
| 施工及び管理の配慮事項 ※周辺状況や地下水、点検等配慮することについて記載してください。 | | | | |
| 山留め背面に崖があるため、はらみ等がないか定期的に計測し管理を行う。 つながりやすい | | | | |
| ご連絡先を記入してください。 | | | | |
| TD 1B = 1+ + | 会社名 (株)〇〇工務店 | TEL 000-000-0000 | | |
| 現場責任者 | 氏名 〇〇 〇〇 | TEL(携帯)000-000-0000 | | |
| 緊急時連絡先 | 会社名 (株)〇〇工務店 | TEL 000-000-0000 | | |
| 現場和ヨ石 | 氏名 〇〇 〇〇 | TEL(携帯)000-000-0000 | | |
| | | | | |

山留め工事の施工計画書には、①案内図②山留め平面図③山留め断面図を添付し、下記提出先の窓口に提出してください。控えが必要な場合は、2部提出してください。 ②③には次の内容を明記してください。 *

②山留め平面図: 敷地境界線、隣地高低差、建物の通り芯と山留め壁の位置関係、周辺敷地の状況(隣地建物の位置・規模・構造、 道路、鉄道等)、乗り入れ構台の位置、仮設設備の位置、施工機械の設置位置・搬入経路、道路上工作物等の位置 ③山留め断面図:根切り高さ、隣地高低差(崖がある場合は崖の角度・高さ)、根入れ長さ

建築物の用途が一戸建ての住宅の場合または宅地造成工事で指示のあった場合は、上記に加え④山留め等の構造計算書を提出してください。ただし、これ以外の用途であっても、山留め工事の安全性について確認が必要な場合は、山留め工事の施工計画書の提出とは「出るなります。 *

計画に変更が生じた場合には再度計画書の提出をしてください。

工事により敷地外の道路や周辺家屋に被害が発生した場合は下記までご連絡ください。(深夜や休日などには FA) します。)

提出先に ご注意ください。

| 提出先 | 建築物及び | 横浜市建築局建築指導課構造担当 |
|-----|---------|---|
| | 下記以外の | 〒231-0005 横浜市中区本町 6 丁目 50 番地の 10 横浜市庁舎 25 階 |
| | 工作物の場合 | 電話:045-671-4536 FAX:045-681-2437 |
| | 宅地造成工事及 | 横浜市建築局宅地審査課(調整区域内の場合は調整区域課) |
| | び横浜市で確認 | 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 横浜市庁舎 25階 |
| | 済証の交付を受 | 電話:045-671-4515~4518(4521) FAX:045-681-2435 |
| | けた擁壁(工作 | |
| | 物)の場合 | |